



教育情報 桂川っ子

【問合先】桂川町教育委員会 ☎65・1149



題字：桂川中学校美術部 神崎 巴奈 さん

『夢や希望に輝く』

桂川小学校創立百年

桂川小学校 校長 辻秀志

『夢や希望に輝く』は校歌一番の歌詞にあります。私たち職員は、子どもたちが将来の「夢や希望」を持つことができるところに頑張っているところです。

本校は、大正6年11月3日に土居尋常小と土師尋常小が統合し、桂川尋常高等小学校として、現在の役場庁舎地に開校しました。その間、多くの児童が「夢や希望」を抱いて卒業していきました。歴史ある本校は、今年の11月3日で学校創立百年を迎えます。11月6日(日)には記念式典を開催します。また、記念のオリジナルタオルを1枚1000円で販売しています。

売上金は記念碑や児童への記念品に当てます。販売にご協力いただければありがたいと思います。

子どもが進んでかかわり合い、ともに伸びゆく教育活動

桂川東小学校 校長 西園 浩一

本校では、学んだことや人とかかわりを生かした教育活動に取り組んでいるところです。「かかわってよかった」「もっとかかわりたい」と思う気持ちは、体験によって獲得されるものです。

①学級の中のわたし(学校生活の基盤としての学級集団づくり)

学級内の仕事分担や問題解決など、話し合うためのスキルを学習しています。互いの意見のよさを生かしたり、折り合いを付けたりしてまとめることを、活動を通して学んでいます。

②学校の中のわたし(異学年集団における役割の発揮)

全校を3ブロック、それぞれ6つに分けて、たてわりスポーツ(たてスポ)や掃除をしています。高学年の子どもたちのリーダーシップを養っています。

③地域の中のわたし(地域の一員としての自覚と誇りの芽生え)

学校支援ボランティアやアンビシャス広場、おはよう会の方々など、学校にかかわってくださる大人の方たち(地域の先輩方)から、たくさんのことを学んでいます。先日は3年生が習字とリコーダーを習いました。

学校支援ボランティア研修会

「学び・広がり・深まる」

桂川町学校支援地域本部

桂川町学校支援地域本部では、6月30日(木)、住民センターで、50人を超える地域のボランティアが集い、学校支援ボランティア研修会を開催しました。

研修会では、福岡県教育庁筑豊教育事務所社会教育主事の西嶋穂先生の、映像を取り入れた講話に、参加者は熱心に耳を傾け、学校でのボランティア活動を行うことの意義や、気を付けることなどを学びました。これからの学校支援のボランティア活動に、広がりと深まりが出てくることを期待しています。

桂川町学校支援地域本部は、地域の皆さまのちからで子どもたちの教育活動を支援してまいります。現在、個人および11団体の122人(男性46人・女性76人)が登録しています。



学校支援ボランティア

これまでの主な活動状況 (7月15日現在)

日程	学年	内容
5月12日	小3年	国語科(習字)の補助
5月13日	小3年	音楽科(リコーダー)の補助
5月18日	小1年	体育科(体力テスト)の測定補助
5月20日	中1年	家庭科(調理実習)の指導
6月1日	小3年	国語科(習字)の補助
6月4日	小3年	国語科(習字)の補助
6月8日	小6年	社会科体験活動の指導
6月21日	小3年	音楽科(リコーダー)の補助
6月23日	小3年	国語科(習字)の補助
6月29日	中1年	家庭科(裁縫)の補助
7月6日	中1年	家庭科(裁縫)の補助
7月8日	中1年	家庭科(裁縫)の補助
7月13日	小4年	総合学習(作品づくり)の指導
7月15日	小3・5年	体育科(着衣水泳)の指導
毎月	幼稚園	誕生日園児への折り紙作品の提供

(のべ39人・2団体参加)